

<h1>ネイチャー・ウォーク</h1> <p>ECO  SAITAMA</p>	<p>令和7年4月 2025.4.20発行 (通巻第374号)</p>
<p>公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会</p>	

■3月のネイチャー・ウォーク

春よ濃い ～旧児玉町 県北フルコース～

JR八高線松久駅～児玉駅

2025年3月30日(日)のネイチャーは、JR八高線の松久駅を出発し、鎌倉古道を通過して、こだま千本桜で有名な河川敷を歩くコースです。首都圏でも珍しくなったディーゼル路線での集合で、ローカル列車の旅の趣も味わいながら、21名の方に参加いただきました。

咲きはじめてばかりの桜の前で記念撮影。あと数日したら満開の様相。また来てみたいですね！





駅前にあった桜から木くずが出ていました。特定外来生物クビアカツヤカミキリの仕業です。この先の道でも、同様の被害に遭った樹木を何本も見ました。



ベニシジミ



ノジスミレ

前日は厳しい寒さでしたが、この日は気温も上がり、道中では様々な春の草花や、チョウをはじめとする昆虫たちに出会いました。



鎌倉街道沿いの鉄塔に、カラスの群れが。「ミヤマガラスでは？」と、それぞれ双眼鏡で確認しようとしたのですが、遠すぎて特定できず…。ミヤマガラスはくちばしが白く、渡りを行うこともあるカラスです。田んぼの中には、いくつも古墳が点在していました。「広木・大町古墳群」の多くがこの場所に位置しているそうです。



「ガリガリ君」で有名な赤城乳業の工場脇を抜けて小山川河畔へ。ここは「こだま千本桜」の名で親しまれる、桜の名所です。あいにく満開まではもう数日かかりそうなつぼみの状態でしたが、屋台が出ていて賑わいを見せていました。



ホオジロ（オス）



モズ（オス）

野鳥たちも、活発に活動していました。途中、コジュケイやウグイス、キジの声も聞こえました。姿を見ることはできませんでしたが、春の到来を喜んでいるかのように、ご機嫌で歌っていました。



青空のもと、自然が好きな皆さんとゆっくり歩きながら過ごした時間は、良いリフレッシュになり、明日からの活力がみなぎった方も多かったのではないのでしょうか。2025年度もみなさんに楽しんでもらえるコースを用意しました。これからも、ネイチャー・ウォークをよろしくお願いいたします。